

美唄市財政健全化計画（素案）に対する意見と市の考え方

区分	意見の要旨	市の考え方
計画策定の背景・目的に関するもの	<p>市立病院の不良債務の増大や財政の悪化は市にも責任はあるが、国の政策によるものもあるので、国・道に対して、地方切り捨ての「地方行革」を止めさせ、地方交付税の増額を求めるべきである。 <他に同様の意見あり></p> <p>問題が発生してから当面の健全化計画を策定するような、その場その場の対応ではなく、健全財政にしていくには何が必要か、財政危機に至った要因について自主的に検討すべき。過去の施策の有効性や問題点などを今日的に総括し、財政健全化と地域再生について、市民の目線に立った政策づくりを行うべきである。</p> <p>このような状況になったのは国の責任ではないか。<説明会></p> <p>財政健全化を行う原因は何か。 <説明会></p> <p>美唄市の赤字の原因は何か。 <説明会></p> <p>協力すべきものは、協力したいが、今回の問題は国に責任があり、市は国にどのような要望をしているか。<説明会></p>	<p>これまで、一般会計においては、単年度収支の均衡を図るよう努力してまいりましたが、国の「三位一体の改革」により、地方交付税が大幅に削減されたことに加え、財政健全化法の制定により、病院の累積不良債務を含めた連結ベースで財政健全化の判断をされることとなったことに伴い、新たな対策を講じ、同法による早期健全化団体の指定を回避する、緊急に対応すべき課題となったところであります。</p> <p>このため、公立病院特例債の借入れを行い、市立病院の累積不良債務を長期債務に振り替え、平成27年度までに累積不良債務の解消を行います。</p> <p>一般会計においては、累積不良債務解消に向けて平成21年度から病院事業会計に対して約21億円の支援を行うとともに、平成27年度までに見込まれる収支不足額約19億円を捻出するため本計画を策定したところでです。</p> <p>国に対しては、今後とも、全道市長会などと連携して地方交付税の増額と病院に対する支援の拡充を要望してまいります。</p>
	<p>説明会では「地方いじめ」という言葉が出されたが、努力もせずに（これまでの給与カットの期間が極めて短く、かつ少額）、市民に負担（増税や福祉の切捨て）を求める行為はいかがなものか。</p> <p>今まで何をしてきたのか、そしてそれによってどんな効果があったのか、総括して数値データごとに一般市民に示すべき。</p> <p>問題が発生してから当面の健全化計画を策定するような、その場その場の対応ではなく、健全財政にしていくには何が必要か、財政危機に至った要因について自主的に検討すべき。過去の施策の有効性や問題点などを今日的に総括し、財政健全化と地域再生について、市民の目線に立った政策づくりを行うべきである。</p> <p>市立病院にしる、市の財政にしる、数年で経常黒字や健全化を実現する、と主張しているが、なぜ今までやってこなかったのか。また、期限内に実現できなければ、誰が、どのように責任を取るのが示すこと。</p>	<p>これまで、美唄市自立推進計画に基づき、職員数の削減（4年間で113名）、職員給与の独自削減（平成16年度から5年間実施）、事務事業の見直し等を行い、9億円以上の効果を上げてきました。</p> <p>しかし、さらに今後7年間で約19億円の収支不足が見込まれること、市立病院の累積不良債務解消のために約21億円を計画的に捻出しなければならないことから、この計画を策定することとなりました。</p> <p>本市の財政健全化に向けて、この計画に沿って着実に進めてまいりますが、同時に、まちの活性化にも取り組まなければなりません。</p> <p>今後、限られた財源を有効に活用するため、施策の重点化や事務事業の選択と集中を一層図ってまいります。</p> <p>また、これらの動きについては、市広報紙などでお知らせをしてきたところですが、今後も市民の皆さんには分かりやすい情報提供に努めてまいります。</p>

<p>本市にとって財政健全化は緊急課題。今日の財政危機に至った要因や財源捻出などは時間をかけて検討すべき。当面は、行政、議会、市民が一丸となって努力すべきと考える。ただし、市が捻出しようとしている41億円の具体的項目は納得しがたいところが多々ある。低所得者や社会的弱者には極力負担をかけず、不要不急の事務事業の見直しを重点に具体的項目を定めるべきである。行政（病院）と議会は、今回の提案による市民の不満、苦しみ、怒り、批判を真摯に受け止め、負担を軽減できるよう具体的な成果が得られる努力をすべきである。</p>	
<p>美唄として大切にしたいことが何なのか、何も感じられない。美唄にしかない産業や施設は大いに活用して、市民の気持ちが一貫して活性化した市になるように。協力は惜しまない。</p> <p>財政健全化の中でも市としてやらなければならないものは何か。〈説明会〉</p> <p>市の7年後の展望はどのようなものか。〈説明会〉</p> <p>実現性のある予算を立てて欲しい。後ろ向きな計画ばかりでなく前向きな工夫を望む。</p>	<p>本市のまちづくりの重点方向である「福祉」「環境」「交流」「経済振興」を基本に、市民の皆さんと一緒に、個性と活力あふれる自立的なまちづくりを目指してまいります。</p>
<p>財政再生団体は絶対に避けなければならない。〈説明会〉</p> <p>この計画の内容では、市民にとって財政再生団体となっても同じではないか。〈説明会〉</p>	<p>早期健全化団体や財政再生団体になると国の指導のもとに財政健全化を進めることになり、市の自治権が大きく制限され、市民の皆さんにとっても更に厳しい状況となることから、こうした状況を避けるため、公立病院特例債の借入れに全力を挙げてまいります。</p> <p>国に対しては、特例債の地方交付税措置に関して、利子だけでなく元金に対する支援も要望してまいります。</p>
<p>計画期間の延長はできないのか。〈説明会〉</p> <p>財政健全化計画の8年の計画期間は長過ぎる。〈説明会〉</p>	<p>短期間に市民に大幅な負担を求められないことから計画期間を8年間とし、市立美唄病院の不良債務の解消についても、国のガイドラインでは5年間とされているところを8年間に延長してもらうこととしています。</p>
<p>他市では、ホームページで財政健全化に関する情報が載せられている。美唄市においても同様な情報提供が必要。広報紙での情報も不十分。</p>	<p>本市のホームページでは、市政の取組や財政状況について担当課ごとのページに分けて掲載していますが、今後、検索しやすくなるよう改善を図ってまいります。</p> <p>市広報紙においても、必要な情報を分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。</p>
<p>市民が分かりやすい決算報告が必要である。〈説明会〉</p>	<p>今後更に市民の皆さんに分かりやすいものとなるよう決算報告のあり方について検討してまいります。</p>
<p>出前講座は実施したのか。</p>	<p>今回の4件の計画素案に関しては、出前講座の申込みが1件あり、開催いたしました。</p>
<p>まちが衰退しないよう、新しい市民をどう増やしていくのか。〈説明会〉</p>	<p>企業誘致や移住・定住の取り組みなどに、今後とも努力してまいります。</p>

<p>施設がなくなると人口が減少する。職安、専大、自衛隊などの対応はどうするのか。〈説明会〉</p>	<p>八口ワークについては、市として存続を国に要望しましたが、平成22年3月31日をもって廃止されることになったところであり、求職などの相談機能が地元で維持されるよう今後、国と協議してまいります。</p> <p>専大は学生数が減少し、厳しい経営状況が続いていますが、存続されるよう今後も支援してまいります。自衛隊に関しては、道内の人員等が削減される見込みであり、美唄駐屯地の維持存続に向けて引き続き国に強く要望してまいります。</p>
<p>もっと早い段階で説明し、市民の声を計画に反映してほしい。〈説明会〉</p>	<p>時間的に余裕のない中での説明となり、ご迷惑をおかけいたしました。市内14箇所での説明会のほか、パブリック・コメント（意見募集）や出前講座において、市民の皆さんからいただいたご意見を踏まえて計画（素案）の見直しを行いました。</p>
<p>給料等 の見直し に関するもの</p> <p>美唄市職員の人員と人件費削減については、各部、各課、各係の職員数の見直しと正規職員を最小限として、臨時職員の採用配置により人件費をおさえこむ。また、学校・給食センター労務職員・図書館等の臨時職員化を図る。</p> <p>職員給与については、完全に美唄市財政健全化にいたるまで20%削減を実施する。出張旅費等の見直しを図る。</p> <p>併せて教育委員、農業委員、選管委員等の歳費削減。</p> <p>夕張市や赤平市は30%削減している。〈説明会〉</p> <p>市職員の15%カットは、生活権に関わる重大な問題。市職組と十分な協議を行い、可能な限り給与減額しない事。</p> <p>職員給料の15%削減は、意欲の低下につながるのか。〈説明会〉</p> <p>職員の給料体系は守るべきである。〈説明会〉</p> <p>給料削減について職員は納得しているのか。〈説明会〉</p> <p>職員給料の削減方法はどのようにするのか。〈説明会〉</p> <p>給料削減は職員も管理職も同じなのか。〈説明会〉</p>	<p>職員にとっては厳しい内容ですが、これを行わなければ、公立病院特例債が借り入れできない状況にあります。</p> <p>削減内容については、職員組合と交渉を経て決定しますが、夕張市や赤平市では多数の職員が退職して市の業務を行う上で大きな影響が出ており、本市では15%が限界と考えています。また、削減方法は、若い職員に配慮して行うこととしています。</p> <p>なお、職員給与については、国家公務員に準拠することが基本であり、このたびの削減は財政健全化を達成するまでの例外的なものと考えております。</p> <p>施設については、統廃合、指定管理者制度の活用に加え、業務内容を踏まえ、引き続き嘱託・臨時職員の配置に努めます。</p> <p>出張旅費については、可能な限り公用車を利用するとともに、人員・日数・回数を必要最小限に止め節減を徹底しており、今後も、この取組みを継続してまいります。</p> <p>各種行政委員会の委員報酬については、平成15年、平成18年、平成20年と見直しをしているところですが、今後においても必要な見直しを行ってまいります。</p>
<p>市職員のOBや市議会のOBにも負担を求めてはどうか。〈説明会〉</p>	<p>制度的には難しいものと考えています。</p>
<p>職員削減で住民サービスの低下にならないか。〈説明会〉</p>	<p>職員配置のあり方を工夫し、住民サービスの低下にならないよう対応に努めてまいります。</p>
<p>職員給料を削減すると購買力も落ち、まちが衰退するのではないのか。〈説明会〉</p>	<p>給料削減で市内購買力の低下も懸念されますが、この難局を乗り越えるためにはやむを得ない措置であると考えています。</p> <p>また、財政的には厳しい状況が当面続きますが、限られた財源を効果的に活用し、地域経済の活性化に向けて最善の努力を払ってまいります。</p>

<p>兵庫県加西市は、早期健全化団体に陥っていないにもかかわらず、市長の給与削減30%を行っている。北海道庁も同様で、一般職員は一昨年から10%削減、今年度から7.5%の削減。美唄市も同様な努力をすべき。</p> <p>市職員の給料・諸手当は市内の中小企業に働く方々との差があるため次のとおり提案する。特別職の内、市長、副市長、教育長の給料・諸手当は50～60%の減額、一般及び臨時職員の給料・諸手当は40%～50%の減額を2015年度まで実施する。</p> <p>知事は30%の給料カットを申し出ている。市長と職員の給料カット30%、人員は3割削減くらいの意気込みを見せないとい市民は納得しない。</p> <p>市長給料の削減率は少ないのではないか。＜説明会＞</p> <p>市長と副市長、教育長は同じ削減率にしないのか。＜説明会＞</p>	<p>ご意見を踏まえ、特別職の給与の削減については、さらに踏み込んだ削減として、市長は30%、副市長・教育長は20%としました。</p> <p>なお、一般職について、15%が限界と考えております。</p>
<p>他市町村から市役所へ通勤をしている方には勸奨退職を。</p>	<p>制度的に難しいと考えております。</p>
<p>計画を策定する担当者だけでなく、職員全員がそれを自覚しなければ緊張感や悲壮感は市民に伝わってこない。</p>	<p>職員と話し合いながら、共通認識のもとで、財政健全化に向けて、市役所が一体となって進めてまいります。</p>
<p>職員数については、現状のままとし退職による補充については最低人員確保を美唄に住む事を条件に近隣の高校出身者を含めて採用する。退職者が続出の場合は最低人員確保には有償ボランティア、OBを採用する。老人パワー、障がい者パワーを活用する。</p> <p>健全化のためにも職員を削減してはどうか。＜説明会＞</p> <p>給料削減でなく、大幅な職員を削減し少数精鋭で実施してはどうか。＜説明会＞</p>	<p>職員数については、4年間で113名を削減しており、定員適正化計画に基づき、引き続き削減を進めます。</p> <p>退職者の補充採用については、組織機構の見直し、適正配置、外部委託の推進などにより必要最低限にとどめていますが、ご意見にある有償ボランティア等の活用については、市民協働の視点から検討してまいります。</p> <p>なお、新規採用者については、ほとんどが市内に居住しています。</p>
<p>市職員の年齢構成のバランスが悪いのではないか。＜説明会＞</p>	<p>厳しい財政状況を踏まえ、職員数を削減し、新規採用を控えた結果、年齢構成のバランスは十分とは言えない状況になっています。</p>
<p>臨時、嘱託職員も多くないか。＜説明会＞</p>	<p>臨時職員は事業の円滑な実施を図る上で採用していることなどから、時期により多いこともありますが、今後は臨時等も含め職員の適正な配置をさらに進めてまいります。</p>
<p>市の機構改革はどうなっているのか。＜説明会＞</p> <p>市役所内の組織のグループ化を提案する。</p>	<p>現在、様々な課題に機敏に対応できる組織づくりに向け、グループ制の導入を含め、組織機構のあり方を検討しており、検討結果をもとに、今後、具体的に取り組んでまいりたいと考えております。</p>

<p>税の引き上げに関するもの</p>	<p>固定資産税の見直しは、在住企業の弱体化を促進させるものであります。固定資産税は、その企業の収益力に関わらず保有する資産に一律に掛かる税金であるという性質から、経営状態が厳しい中小企業にとっては、更に利益を圧迫するものです。地方財源改善の最大の手段は地域活性化であると認識しており、その為には、官民が一体となって地域の産業を育て、地域住民の雇用を安定化することで、税財政の健全化が図れるものではないかと考えますので、固定資産税の見直しについては、よく吟味のうえご寛容なる措置をお願いします。</p> <p>他のまちは税金が安いから家を建てるならあそこにと聞くと聞く。美唄は地価は安い、JR特急は30分間隔で停まる。宅地造成して人口増を考えてはと思う。固定資産税を上げたら、ますます人は来ない。</p> <p>市民の税、負担金、使用料、手数料については現行のままとする。</p>	<p>企業や市民の皆さんにご負担をおかけしますが、財政健全化に向けた自主財源の確保のため、ご理解、ご協力をお願いいたします。</p>
	<p>市税等の未納、滞納の解消については、市民税・固定資産税・都市計画税・市営住宅・軽自動車税・自動二輪税・学校給食・医療費等の未納、滞納の解消へ全力をあげ、その状況、解消への取り組み及びその成果について公表すること。</p> <p>税金未納者は毎月催促をする。</p> <p>市税の滞納に対する取り組み状況はどのようになっているのか。〈説明会〉</p> <p>税を上げる前に徴収率を上げるべきではないか。〈説明会〉</p> <p>収納率向上の具体策はあるのか。〈説明会〉</p> <p>固定資産税の引上げは未納者対策などをしっかり行い、不公平感のないようにしてほしい。〈説明会〉</p> <p>納税強化として民間委託も考えてはどうか。〈説明会〉</p>	<p>収納対策を強化するため、職員体制の見直しや、道からの専門職員の受入れ、悪質滞納者に対する行政サービス制限条例の制定、タイヤロックの導入などを行ってきました。</p> <p>今後、財産や債権の差押さえ、インターネット公売など、滞納整理をより一層強化してまいります。</p> <p>また、未納・滞納のケース分析を行い、公平な税負担についての市民理解を求めていくためにも収納対策方針を確立し、毅然とした滞納処分を執行することといたします。</p> <p>民間のノウハウの活用については、今後の収納状況を見ながら検討してまいります。</p>

<p>負担金・使用料・手数料等の引上げ、事務事業の見直し</p>	<p>市民への負担増は市民の市外逃亡増大となる可能性があるので軽減する。(夕張市の例)</p> <p>市民の負担は一定の部分は止むを得ないと考えるが、生活弱者に対する負担の増大は生活が破壊される。障がい者移動支援(福祉タクシー)、特定疾患患者等支援事業の一部(交通費助成)等弱者に対するものは強行しないこと。</p> <p>防災活動、障がい者、難病者関連、季節労働者などの事業は現行のままとすべき。</p> <p>市民も協力しなければならないが、社会的弱者の負担は少なくしてほしい。 <説明会></p> <p>福祉タクシーなどの福祉的な部分は見直せないか。<説明会></p>	<p>今後とも経費削減に努め、市民の皆さんへの負担を極力抑えていきます。</p> <p>また、ご意見を踏まえ、福祉タクシー、特定疾患患者等への交通費助成については、継続して実施することとし、計画から削除しました。</p>
<p>へき地保育所や幼稚園保育料等、子育てに関わる部分の値上げは絶対に止めてもらいたい。若い世代は給料カットで年収が減少し、負担増が加わると、子供を作りたくてもつけれない。</p> <p>少子化の時代に子育て世代に対する負担を増やすべきではない。<説明会></p>	<p>他市町村より料金が低いものを項目としてあげたが、ご意見を踏まえ、へき地保育所の保育料については3年間で段階的に引上げ、放課後児童施設負担金については当面据え置くこととしました。</p>	
<p>市職員に対する福利厚生会などの負担金の廃止は同意する。</p> <p>職員の駐車場の有料化に同意する。</p>	<p>計画どおり進めてまいります。</p>	
<p>バス路線からはずれている車のない市民(老人)はタクシー利用で負担が大きい。実態を把握してほしい。</p>	<p>職員で構成する「地域応援チーム」が町内会などを通して、地域の課題の把握に努めていますので、実態に基づき地域の皆さんと解決方法をご相談させていただきたいと考えています。</p>	
<p>奨学資金など弱者に対する値上げが多いのではないか。<説明会></p> <p>奨学資金廃止など子どもに関するものは職員手当での削減などで見直しできないか。<説明会></p> <p>奨学金貸付事業の廃止は止めてほしい。<説明会></p>	<p>奨学金に関しては北海道社会福祉協議会に有利な貸付け制度があるので、今後は、この制度を紹介してまいります。</p> <p>また、同協議会の制度の対象外である北海道中央コンピューターカレッジに関する貸付制度は、継続していくこととしました。</p>	
<p>学校開放事業は、地域の交流や健康づくりのために利用しているので、有料化は見直してほしい。<説明会></p>	<p>青少年健全育成活動や世代間交流活動など、子ども同士や親子などで使う場合は除外し、団体等の通年利用に関して光熱水費の実費を負担いただくこととしております。</p>	
<p>総合体育館については、使用料引き上げという負担増の発想だけではなく、高齢者向けの健康体操の実施など、利用率の向上を図るべき。<説明会></p>	<p>ご意見を踏まえ、健康づくりにも取り組んでまいります。</p>	
<p>市は赤字になれば市民に求めるが、市民はどうしたらよいのか。<説明会></p>	<p>早期健全化団体にならないための計画であり、市民の皆さんのご理解、ご協力をお願いいたします。</p>	

<p>公共施設の効率的運営に関するもの</p>	<p>学校統廃合は、少子化による児童生徒の減少により、複式または類似する小規模校にあっては教育効果を期待する観点から適正規模の統廃合を進めることが望ましい。</p> <p>過疎地域の小学校は将来的に統合してはどうか。〈説明会〉</p> <p>光珠内中央小と峰延小という小さな学校どうしでの統合で良いのか。〈説明会〉</p> <p>将来の学校統廃合計画は策定しているのか。〈説明会〉</p>	<p>小中学校においては、完全複式になれば、距離や地域性を考慮し統合を検討していきますが、小学生は地域で学ぶことが大切であり、スクールバスに乗り遠くの学校へ行くのは体力的に難しいなどの点にも配慮することが必要と考えています。</p> <p>現在、学校統廃合に関する計画はないので、今後、小中学校の適正配置に関する考え方を明らかにしてまいります。</p>
<p>三井美唄幼稚園の幼保一元化には賛成だが、従来の保育所の保育の質は保つこと。全国の一元化の例を見ると保育サービス(保育所としての運営方針、保育内容)の切り下げが非常に多く、不安。</p> <p>三井美唄幼稚園の統合についての考え方はどのようなものか。〈説明会〉</p>	<p>地元保育所との統合などを含めた配置見直しについて、良質な保育・教育サービスの提供に十分配慮しながら、保護者と検討していくこととしています。</p>	
<p>廃止予定の建物を利用し、「精神障がい者地域支援センター」を誘致してはどうか。</p>	<p>市内には、NPO法人が精神障がい者のための地域活動センターを運営しており、支援体制が確立されていることからセンターの誘致は考えておりませんのでご理解願います。</p>	
<p>減額した補助金を資金とし、「市民活動センター」を創設すべき。</p>	<p>市民活動センターについては、協働のまちづくりを進めていくうえで重要であると受け止めています。当面は、ボランティアセンターとの連携を図りながら、福祉に関するボランティア活動について、市民活動団体の実態把握を行い、市民活動がより円滑に進むよう努め、こうした取組みを通じ、情報の収集・提供や人材育成、交流など市民活動を促進するための機能の集積、ネットワーク化を図ってまいりたいと考えております。</p>	
<p>市営駐車場は有料とし、管理は有償ボランティア、障がい者を採用してはどうか。</p>	<p>中央駐車場については廃止することとなっておりますが、その他の市営駐車場は、道路交通の円滑化と、市民の利便性を促進し、より多くの市民の方に利用していただくため、有料化については考えておりません。</p>	
<p>庁舎等の清掃などの委託業務は、高齢者、障がい者、生活保護受給者の労働力を最低賃金または有償ボランティアを採用する。</p>	<p>庁舎清掃については、職員で一部を対応して、委託料の削減に努めているほか、除雪や樹木剪定・冬囲いなどについても、高齢者団体や通所授産施設への委託、ボランティアにお願いしております。</p> <p>今後は、美しきまちづくりサポーター制度の活用なども図ってまいります。</p>	
<p>緊急を要するもの、教育、健康に関する件はカットしないようお願いする。(体育館、プール、生活館等の現状維持を希望する。)</p> <p>生活館の廃止について地元との協議はどのようにやっているのか。〈説明会〉</p>	<p>今後とも経費削減に努めるとともに、ご意見を参考に、事業の必要性や緊急度などを総合的に勘案し、事業の選択や集中を図り、また、事業費の精査を行い、市民負担を極力抑えていきたいと考えています。</p> <p>生活館については、地元の集会所として自主運営していくことで地元の運営委員会と協議が整っております。</p>	

	<p>市税の増税や福祉の切り下げを打ち出しているにもかかわらず、経営戦略をまったく示すことができない「食の駅」構想を取りやめないのは、なぜか。</p> <p>「食の駅」構想で赤字を出したら、市長はどのような責任を取るのか。</p> <p>「食の駅」はどうなったのか。 ＜説明会＞</p> <p>あまりお金が落ちない「食の駅」構想は止めるべき。＜説明会＞</p>	<p>美唄の美味しく安全・安心な「食」を生かしながらまちの活性化を図る上で、「食の駅」は必要であると考えております。</p> <p>整備にあたっては既存施設を活用し市の負担にならないようするとともに、管理運営についても、一定の収益を確保し運営に要する経費に当て、自立的な運営が可能となるよう構想をつくっています。</p> <p>今後、市民の皆さんの意見を聴きながら、「食」にこだわったまちづくりを進めてまいりたいと考えています。</p>
補助金の見直しに関するもの	<p>社会福祉法人・社団法人への補助は、全額廃止し自立を促し、補助金のかわりに、融資としてはどうか。</p> <p>リサイクルに結びつく収集ボランティアに補助してはどうか。</p> <p>ボランティアセンターは強化策として、補助し、有償・無償ボランティア育成のための調整員等の事務費としてはどうか。</p>	<p>社会福祉法人への補助については、条例及び規則に基づき、サービス提供事業以外の管理部門職員の人件費及び管理運営費の最低限の助成に努めていることから廃止は考えておりません。</p> <p>ボランティアセンターの事務については、上記の補助の中で調整事務費として盛り込んでおりさらなる助成は考えていません。</p>
	<p>自衛隊協力会記念事業の廃止は、駐屯地の存続に影響するのではないかと。 ＜説明会＞</p>	<p>美唄駐屯地の維持存続に向けては、継続して国等に対して要望活動を行ってまいります。</p> <p>自衛隊協力会に対しての支援は継続してまいります。記念事業への補助については、見直したうえで継続してまいります。</p>
	<p>専大の助成金削減は理解できない。 ＜説明会＞</p>	<p>専修大学北海道短期大学に対しては、留学生支援等の助成を行ってまいりましたが、本市の財政状況をご理解いただき、助成額の減額について了解をいただいたところです。</p> <p>本市としては、今後とも様々な方法で同短大の支援を継続してまいります。</p>
	<p>補助金の見直しは、財政健全化計画で廃止・削減するもの以外はどうするか。 ＜説明会＞</p>	<p>毎年度の予算編成において、補助の必要性や事業量（費）について検討してまいります。</p>
市議会に関するもの	<p>美唄市議会議員の定数および歳費等の削減については、市議定数を地方自治法にのっとり現16名から12名に削減する。歳費も議長以下25%削減する。道内外視察は財政健全化するまで凍結。</p> <p>市議会の議長、副議長、議員の給料及び諸手当については60～70%減額し、議席数は現行とし、2015年まで実施する。</p> <p>職員と職員給与の削減は予算の15%で当面止むを得ない。さらに議員数削減、報酬の減額について検討する必要があることを強調したい。</p> <p>議員数は現行のまま、報酬は60%～80%の削減を提案する。</p>	<p>市議会での検討結果を受け、次の項目を計画に追加しました。</p> <p>なお、議員定数について引き続き協議を行うこととされているほか、市議会議員選挙にかかる公費負担について削減の方向で検討することとされています。</p> <p>また、議会では平成21年度から、市民の皆さんへの議会活動等の説明や、ご意見等を伺うなど対話の機会を図るため、年1回地域に出向いて議会報告会を開催することが予定されています。</p> <p>議員報酬等の見直し …約12%削減、常任委員会行政視察の凍結（効果額4,234万円）</p>

	<p>市議会議員の報酬や定数の削減はしないのか。〈説明会〉</p> <p>議員定数を10名ぐらいに削減してはどうか。</p> <p>財政健全化に対する市議会の対応や議会独自の説明会の開催をしてほしい。〈説明会〉</p> <p>説明会には市議会議員の代表も出席し、市とともに市民の意見を聴いてはどうか。〈説明会〉</p> <p>市議会議員の報酬を日当制にしてはどうか。〈説明会〉</p>	
<p>推健全化に 関する 後の 財政</p>	<p>「財政健全化策の効果」は、見積もりが甘すぎる。プロの経営コンサルタント等に委託すべき。</p> <p>計画では単年度収支の黒字額が少ないのではないかと。〈説明会〉</p>	<p>財政の収支見込みについては、市が責任を持って行いました。</p> <p>単年度の黒字額については、市民負担を極力抑制し、収支均衡を基本にしたことによるものであり、ご理解願います。</p>